

2020年度 特別研究推進費実績報告書

2021年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 法学部 准教授  
(氏名) 水野陽一

2020年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、  
次のとおり報告します。

研究課題名	国際基準に照らした刑事司法制度の総点検—公正な裁判原則との比較を通じて—					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>2020年度は、コロナウィルスの影響で、予定していた海外出張が行えないなど、大幅な研究計画の変更を迫られた。代わりに、過去研究者が行った講演、講義に関わる音声資料の掘り起こし、デジタルアーカイブ化を行うことで、過去の刑事司法の実態を知ることができ、一定の成果を得ることができた。他にも、研究遂行のためのインフラ整備を行い、オンラインでのインタビューを行うなどを行った。結果として、刑事手続における結果の現れ方の一つである刑罰権の執行は、国家の根幹を成す機能の一つであり、個人の生命、身体、財産に対してもっとも強い侵害を伴う国家的作用であること。それ故、対象者である個人の尊重を前提とする正統性の備わっていない手続を経た結果に基づいて刑罰権が執行された場合、刑事司法はもちろん、国家そのものに対する国民からの信頼を失わせる結果を生む。人間は過ちを犯すのだということを前提とした場合、憲法、刑事訴訟法に違反のない手続から得られた事実または真実にすら、常に誤判によってそれがもたらされたのではないかという危険が潜んでいるのであるから、そもそも正統性が認められない場合、その危険性はより大きなものとなることが明らかになった。わが国において、刑罰権執行の基礎となる事実認定、その前段階となる捜査、訴追に関して、問題がないとは言えず、その是正のために必要となる刑事再審制度の大幅な改正が必要であることが明らかとなった。</p>					
	合計	使用内訳 (単位：円)				
交付決定額	600,000	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	600,000	567,000	21,000			12,000
執行残額	0					
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		